

## Artist 3



### Kei Asanuma

浅沼 圭

滞在:2022年11月8日～11月22日

住まい:宮ノ内お試し滞在住宅

カウンターパート:壬生農園

この、滞在制作を求めない大変興味深いアーティスト・イン・レジデンス日高村に参加できたことに心より感謝しております。大自然の環境の中で自分の活動と他の仕事をしながら、身を置くことは、はじめてで、これまでの経験の中で奥深い体験になりました。まず、ダンスすることに仕事、自然の中に身を委ねることは自分自身の生活の中で根底にある一部分と考えており、それが2週間の体験で“どんな身体になるのか?”とても楽しみました。また、1人サーカスパフォーマーのアーティストを追加してもらおうという無理なお願ひから始まり、練習環境を整えてくださったり、また期間中にも様々なリクエストを柔軟にご対応して頂きましたこと、感謝申し上げます。生姜収穫仕事はとても大変!!と村の方々、口を揃えて仰っており、とてもドキドキしていましたが、体勢を変えたり、ストレッチしたり、身体のリズムを意識したりなど試行錯誤していたら日に日にコツを掴み、自分の身体に効果的なやり方を見つけることができました。お陰様で、東京に帰ってからはとても体が強くなった感があり、本当に畑仕事は足腰が強くなるんだと実感しました。また、一緒に作業されているアルバイトのお爺さんお婆さんとも休憩中話す機会があったりなど普段、東京では話さないような年齢層の方とも交流することができ心温まりました。壬生農園の壬生さんも私たちの活動に大変ご理解のある方でのびのびと普段の活動もさせていただきました。アーティストの活動の方は能津小学校の体育館を手配していただき、そこで日々、生姜の収穫仕事が終わり次第向かう形でしたが、正直なところ、2週間の中で、生姜収穫仕事と練習はとてもハードなスケジュールでした(笑)。基本的に練習は解放し、地域の方や能津小学校の職員・子どもたちがチラチラと尋ねてきてくれました。初めて見るものにどう興味を持ってもらえるのか少し気に掛かっていましたが、みなさんとても気さくに触れたいかれる様子でした。土日には、せっかくなのでと思い、ダンスワークショップを地域の方に向けて開催する提案をさせていただき、はじめてダンスする人々がほとんどでとても楽しんでいました。最後には能津小学校で講話とちょとしたパフォーマンスをする機会があり、舞台など見たことない子供達が、物珍しそうに見ていたのがとても印象的でした。本来のアーティスト・イン・レジデンス日高村の目的以外にさまざまな体験をさせていただき、能津小学校校長先生はじめ、小学校の先生方、壬生農園さんには心より感謝しております。アーティスト・イン・レジデンス自体に参加することは初めてのことでしたが、今回こちらを体験させていただいてみて、地域によって様々な形があること、地域の方々の受け入れ態勢、作品制作など、アーティストが地域へ滞在する事の意義を考えさせられ、異なった文化や環境で、価値観などの相違を改めて感じた時間になりました。



浅沼 圭 / ダンサー、振付家。東京出身。これまで森山開次、串田和美、広崎うらん、矢内原美邦など、ダンス・演劇・サーカスの演出家作品に出演、国内外のツアーに参加。2010年まで新体操の選手として、数ある賞を受賞し、日本代表にも選出される。北京オリンピック強化選手。引退後はコンテンポラリーダンスに魅了され単身渡英、ダンサーへ転身。現在は舞台・映画・CM・MV、アーティストとのセッション、の出演やステージングを中心に活躍。ダンサーという枠を超え、新しいことに取り組みながら、身体表現の可能性を体現、伝承している。

奥澤 秀人 / 2005年日本人初、カナダのサーカス集団「シルク・ドゥ・ソレイユ」日本国内オーディションを受け本社でのトレーニングプログラムを経て入団。14年間鉄棒のスペシャリスト、として世界各国をツアーし、計4000回以上のステージに立ち延べ800万人以上の人々に感動を与えて回った。日本での公演は2009年ダイハツ コルテオ、2016年ダイハツ トーテムに参加している。2020年世界的パンデミックとなり帰国後元Kバレエカンパニー プリンシパルの白石あゆ美と組みエリアルと身体表現のコラボレーションアクトを発表、他にもシルクホールを使った演目も行う。未来ある若者や子供たちに夢や希望を持ってもらいたいと思い、自分の失敗体験や怪我の経験を元にした講演活動も行っている。

### Hideto Okuzawa

奥澤 秀人

滞在:2022年11月8日～11月22日

住まい:宮ノ内お試し滞在住宅

カウンターパート:壬生農園

誘ってくれたダンサーの圭さんから初めて日高村と聞いて聞いたこともない村の名前で場所がどこなのかさえも分からなかった。なにやらアーティスト・イン・レジデンス日高村と言うプログラムがあると言う話で誘っていただいて二つ返事で参加することになりました(笑)。この日高村という場所は高知県にあって自然いっぱいなどどこで何よりも近くを流れる仁淀川の水の綺麗さには感動した。それから村人の方々は気さくな人が多く、気軽に話ができて楽しかったです。色々な出会いに感謝の滞在中でもありました。滞在場所はとても静かで暮らしやすい場所でした。夜になるとあたり一面暗闇の世界で星が綺麗に見えて、聞こえる音は虫の音くらいでした。都会に住んでいる人にとってこの暗間だったり静けさだったりなかなか味わえないのでかなり貴重な体験になるのではと思います。ただ、場所的に車がないと買い出しに行くのも畑に行くのも一苦労だと思いました。受け入れ業者の壬生農園さんにも大変良くしていただき楽しく毎日作業できました。今まで生姜はスーパーで並べられているものしか目にする機会がなかったので畑で見た生姜の大きさと持ってみた時の重さに驚きました。畑での作業は最初は体力、体勢的にきつかったが何日かすると筋肉痛も和らぎ慣れてきました。ただ作業スピードや正確さは毎年作業している地元の方に到底及びませんでした。この作業を一つの畑が終わるまで続けて、終わったらまた次の畑へという感じで作業が進められていきました。一つの広い畑での収穫が全て終わるたびに達成感がありました。生姜はこうやって畑で出来ていてここから色んなプロセスを経てスーパーの棚に並べられるんだと学びました。これ以降スーパーで生姜を見るたびに日高村で体験させてもらった事を思い出します。それから滞在中に能津小学校の参観日に合わせてパフォーマンスの披露と講演をやらせていただき子供たちにも新しい刺激が伝わって何かを感じてくれたらいいなと思いました。

